2024年度　【　阪神南・芦屋　】ブロック活動報告

ブロック代表理事氏名（　菅原　恵子　）

■活動目標

1. 阪神南・芦屋ブロックを主とし、ICT（ZOOM等を）活用し、ハイブリッド研修の推進、交流、情報共有を図り他職種等とも連携強化を図ると共に、看護の質の向上や人材育成を目指す。

■活動内容

１．定例連絡会（管理者・役員会）

回	開催年月日	主な討議事項	出席者数
1	2024年4月17日	今年度の代表・副代表専任、阪神南ブロックの報告、芦屋市介護事業者連絡会より報告、芦屋ONEチームより報告、今年度の研修について	15名
2	2024年6月19日	阪神南ブロックの報告、ナーシング・スキルの活用について、芦屋市介護事業者連絡会より報告、芦屋ONEチームより報告、今年度の研修について、芦屋病院よりコロナ病棟について	14名
3	2024年8月21日	阪神南ブロックの報告、芦屋市介護事業者連絡会より報告、芦屋ONEチームより報告、今年度の研修内容について、医療オンライン請求について、芦屋病院より研修の案内について	13名
4	2024年10月16日	阪神南ブロックの報告、芦屋市介護事業者連絡会より報告、芦屋市ONEチームより報告、芦屋病院より講座の案内、オンライン請求の進捗状況報告	14名
5	2024年12月14日	芦屋市介護事業者連絡会より報告、芦屋ONEチームより報告	14名
6	2025年2月19日	芦屋市介護事業所連絡会より報告、芦屋ONEチームより報告、次年度の各代表・副代表の専任、芦屋市歯科医師会より案内、口腔連携強化加算について、在宅人工呼吸器管理の利用者の災害時避難について	17名

２．総会　　なし

３．研修会

１）ブロック独自研修

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
社内ハラスメント対応とカスタマーハラスメント対策	2024年12月14日	木口会館大会議室	河野次雄	17名

２）その他研修会

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
芦屋緩和医療連絡協議会研修 在宅でのポリファーマシーについて	2024年7月27日	芦屋市医師会館3階	松田良信 山田恵美	45名
芦屋緩和医療連絡協議会研修 終末期のリハビリテーションについて	2025年1月25日	芦屋市医師会館3階	松田良信 宮崎睦夫	37名

４．交流会

開催年月日	場所	内容	参加者数
2024 年 12 月 12 日	モノリス	芦屋市ケアマネージャー友の会主催 芦屋市内の介護事業者・病院・クリニック医療関係者の交流会	80 名

５．地域の関連機関との連携及び会議等の出席に関する事項

会議名	開催年月日	場所	出席者氏名
芦屋市介護サービス	2024 年 5 月 8 日、7 月 10 日 9 月 11 日、11 月 13 日 2025 年 1 月 15 日、3 月 12 日	木口記念会館 3 階	亀井晃代
芦屋市 ONE チーム連絡会	2024 年 5 月 22 日、9 月 18 日 2025 年 1 月 15 日	芦屋市医師会 2 階	高見亜紀
芦屋緩和医療連絡協議会	2024 年 7 月 27 日 2025 年 1 月 25 日	芦屋市医師会館 3 階	林直子 菅原恵子
地域包括支援センター 運営協議会	2024 年 7 月 18 日、9 月 19 日 2025 年 2 月 17 日	芦屋市役所	宮崎満梨瑛
令和 6 年度芦屋市在宅人工呼吸器装着難病患者にかかる災害時対応連絡会	2025 年 2 月 3 日	芦屋健康福祉事務所	宮崎満梨瑛
令和 6 年度芦屋地域歯科保健対策検討会議	2025 年 2 月 5 日	芦屋健康福祉事務所	宮崎満梨瑛
芦屋市地域密着型サービス 運営委員会	2025 年 2 月 17 日	芦屋市役所	宮崎満梨瑛

６．その他の報告内容　　なし

■活動の評価

1．参集での定例会や研修を開催した。
　今年度は参集での会議、研修を中心に実施しました。オンライン会議と比較すると、活発でタイムリーな意見交換ができた。新規開設の事業所に対しても積極的に働きかけることで入会にも繋がった。今後も定期的な情報共有を行うことで連携強化を図り、さらには研修やグループワークなどで活発に交流できるように活動を継続する。

2024年度　【　阪神南・尼崎　】ブロック活動報告

（尼崎）代表氏名（　中塚　美貴　）

■活動目標

1．訪問看護師の質の向上
　①情報共有・交換の工夫を行い管理者間の交流を深め管理者のマネジメント能力を向上させる。
　②教育ステーションと協働しスタッフ向け及び管理者向けの研修会を開催する。
2．尼崎市の会議体への積極的な参加によるネットワークづくりの推進
　①地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割の明確化
　②多職種間の連携を強化する。
3．会員間の親睦を図り相互連携および組織力を強化する。
　①新規ステーションへ入会説明を行い連絡協議会への加入を促進する。
　②市内ステーション間の情報共有を行い、有事時の相互支援体制の構築を図る。

■活動内容

１．定例連絡会（管理者・役員会）

回	開催年月日	主な討議事項	出席者数
1	2024年5月30日	BCP 策定後の地区別連携について(ワーキング)、尼崎市福祉医療課から、在宅でのハラスメントについて、2024年度診療報酬改定について意見交換、委員会報告	34名
2	2024年7月25日	新規入会ステーション紹介　・管理者交替報告、2024 年度診療報酬改定後の意見交換、会議開催方法について、災害対策についての地区別ワーキング、喀痰吸引指導検討現場での困りごとについて意見交換、委員会報告、総会案内　・役員選出に関する依頼事項	33名
3	2024年9月26日	在宅人工呼吸器使用患者の避難入院調整体制について意見交換、ナーシング・スキル訪問看護版について説明、スタッフのコロナワクチン接種について、診療報酬改定対応について：オンライン請求、交流会についての準備	32名
4	2024年11月28日	BCP委員会:市との話し合い内容、進捗状況、方向性報告、災害ネットワーク交流会参加報告、オープンチャット情報提供、委員会報告、ICTを用いた多職種連携のアンケート主旨と依頼、連絡協議会尼崎支部の口座開設について、年会費徴収延期について、交流会のチラシ配布　意見交換	36名
5	2025年1月30日	ＩＣＴを用いた多職種連携のアンケート結果について、連絡協議会尼崎支部の口座開設についての進捗状況、会則の一部改訂について、医療的ケア児：学校園への派遣について　来年度の予定、ＢＣＰ委員会停電時の人工呼吸器患者の対応フローの共有、今年度開催研修予定研修終了と活動報告	34名
6	2025年3月27日	新規加入事業所紹介、管理者変更事業所Ｓ同会、兵庫県連絡協議会からの連絡事項伝達、委員会報告及び意見交換、交流会の振り返りと来年度に向けての取り組み、指示書郵送料の負担についての今後の取り組み	27名

２．総会

開催年月日	場所	報告・審議事項	参加者数
2024年9月5日	立花南生涯プラザ	2024年度役員選出、2023年度活動報告・会計報告、2024年度活動計画案・収支予算案等、 会則の確認、会費について、今後の連絡協議会の在り方について	23事業所 委任状 13事業所

３．研修会

１）ブロック独自研修

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
基礎から学ぶＢＣＰ ～いざというときにどう動く～	2024 年 11 月 16 日	Web 開催+オンデマンド	稲葉典子	39 名
認知症看護 ～薬についてしっていますか～	2024 年 12 月 21 日	Web 開催+オンデマンド	中塚美貴	28 名
訪問看護と看取り ～非がんのプロセス～	2025 年 1 月 18 日	Web 開催+オンデマンド	藤原真由美	31 名

４．交流会

開催年月日	場所	内容	参加者数
2025 年 2 月 8 日	塚口ライクホール	尼崎市訪問看護連絡協議会会員及び尼崎市医師会との交流	107 名

５．地域の関連機関との連携及び会議等の出席に関する事項

会議名	開催年月日	場所	出席者氏名
尼崎市医療・介護連携協議会	2024 年 4 月 25 日 2024 年 5 月 23 日 2024 年 6 月 27 日 2024 年 7 月 25 日 2024 年 8 月 22 日 2024 年 9 月 26 日 2024 年 10 月 24 日 2024 年 11 月 21 日 2024 年 12 月 19 日 2025 年 1 月 16 日 2025 年 2 月 20 日 2025 年 3 月 20 日	Web 会議 〃 ハイブリッド会議 Web 会議 Web 会議 〃 ハイブリッド会議 〃 〃 〃 〃 〃	藤原真由美 福田和美 中塚美貴 （8 月まで） 9 月より 藤原真由美 福田和美 深瀬大輔
尼崎市地域ケア会議ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ会議 代表者会議	2024 年 10 月 3 日 2024 年 10 月 17 日 2024 年 10 月 17 日	尼崎市役所　議会棟会議室 中央北生涯学習プラザ 中央北生涯学習プラザ 大ホール	小野田直子 〃 濱中真由美 佐木田佳寿美 中島岐代美 山内 千鶴 星野 京子 竹之内基子
認知症サポートネットワーク	2024 年 11 月 9 日	ライクスホール +ハイブリッド会議	國生千恵 餘家千寿子

６．その他の報告内容　なし

■活動の評価

・上半期は診療報酬改定・介護報酬改定等の対応に際し、各事業所からの不安の声もあり、情報共有や情報交換、法改正に伴う手続きなどに伴う意見交換や確認事項が実施できたことが協議会の強みであったといえる。会議開催等も参集ができるようになったため、顔の見える横の関係性が形成されてきた。災害対応も含めた地区別での連携を今後も検討していく。下半期は在宅人工呼吸器使用患者の避難入院調整体制について地域や医師会、病院との連携を図り、災害時対応フローと全関係機関共有の情報共有シートを市と連携して作成した。今後受け入れ病院と具体的な協議を重ねていく予定。
・市の教育委員会と協働での医療的ケア児の学校園への協定事業を引き続き行っている。今年度は４名と

途中開始の１名の５名の児童を受け入れた。来年度は６名が増える予定であり、今後の対応方法について教育委員会と体制整備の話合いを重ねている。
・下半期は引き続き在宅人工呼吸器使用患者の広域停電時のフロー作成や情報共有シート作成について、行政や地域の病院と会議を重ねている。医療的ケア児の学校園との協定事業では、来年度より対応となる児童と学校や教育委員会との話し合い、調整役を担っている。
・広報活動として、連絡協議会未加入ステーションについて広報活動を行うため、入会時の流れやパンフレットなどを作成した。来年度は未加入ステーションに積極的に参加を促していく予定である。

2024年度　【　阪神南・西宮　】ブロック活動報告

（西宮）代表氏名（　稲葉　典子　）

■活動目標

1. 医療と介護の連携推進に向け、ネットワーク活動を通じ、地域包括ケアシステム構築への役割を遂行する。
2. 訪問看護の質の向上を図る。
3. 業務上必要な情報を迅速・確実に周知・徹底・収集する。
4. 市内すべてのステーションが参加し、組織としての基盤強化を図ることを目指す。
5. 質の高い訪問看護サービスを提供し、市民の保健・医療・福祉に貢献できるよう、会員の意見を集約し、調整を行う。
6. 行政との連絡・調整等に関する活動を行う。
7. 他職種との連携を密にし、利用者の期待に応える。
8. 会員間の親睦を図り、楽しい職場環境が維持できるよう相互連携に努める。

■活動内容

１．定例連絡会（管理者・役員会）

回	開催年月日	主な討議事項	出席者数
1	2024年4月18日	2024年度総会準備・会則と内規の変更について協議・各活動の計画について・報酬改定とオンライン請求の情報共有等	30名
2	2024年5月16日	2024年度総会準備・看取りシンポジウム、BCPチームの進捗報告、新規事業所の紹介、報酬改定について、医療的ケア児の支援等	31名
3	2024年6月20日	総会報告、看取りのシンポジウム・看々連携・市民祭りチームの進捗報告、医療的ケア児の支援、緩和医療学会報告、PASネット報告	34名
4	2024年7月18日	看取りのシンポジウム・看々連携・市民祭りチームの進捗報告、医療的ケア児の支援、新任世代の交流設定について等	36名
5	2024年8月15日	11月13日心不全研修企画・BCP活動・9月27日看々連携交流会企画・看取りシンポジウム・市民祭り出店について、Tシャツ発注等	28名
6	2024年9月19日	指示書授受における返信用封筒切手を入れない運用の統一について、西宮市受託事業、看取りシンポジウム、市民祭りブース出店等	29名
7	2024年10月17日	障害者相談支援専門員からの情報共有と連携について、11月心不全研修2回分企画、看看連携開催報告、市民祭りブース出店準備等	33名
8	2024年11月21日	医療的ケア児の委託事業について、来年度の活動について、市民祭り出店、看取りシンポジウム開催結果、11月心不全研修報告等	27名
9	2024年12月19日	会則変更のための臨時総会、看取りシンポジウム会計報告承認、来年度の活動について、オンライン資格確認・請求の情報共有等	30名
10	2025年1月16日	医療的ケア児検討委員会報告、看取りシンポジウムアンケート報告、BCPモデル事業報告、来年度の活動について、精神科事例相談	34名
11	2025年2月20日	特定行為看護師の情報共有、チーム活動報告、次年度の事業活動検討、総会企画、年会費と継続申込について、BCP作成発表会	30名
12	2025年3月19日	総会役割分担、チーム活動報告、活動参加に関する姿勢について	25名

２．総会

開催年月日	場所	報告・審議事項	参加者数
2024年6月9日	西宮市職員会館大ホール	2023年度事業報告、会計報告・2024年度事業計画案、予算案、会則改定案、新役員案　承認	22事業所 委任状 6事業所
2024年12月19日	西宮市役所東館702会議室	会則　第5条「事業」第7項目に「自然災害などすべての事業継続の危機的な事象への備えと有事対応時の連携に関すること」の追加　承認	30事業所 委任状 9事業所

３．研修会

１）ブロック独自研修

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
「西宮版連携型 BCP」策定研修・訓練（総会併催研修会）	2024 年 6 月 9 日	西宮市職員会館大ホール	村田由美子 稲葉典子	110 名
看看連携研修会	2024 年 9 月 27 日	西宮市民会館 401 会議室	吉﨑しのぶ 看看連携チーム	61 名
西宮市受託事業　介護職員対象「地域で支える心不全」	2024 年 11 月 1 日	西宮市民会館 401 会議室	白川大樹　奥田晶　吉﨑しのぶ	30 名
看護職員対象「心不全憎悪予防のために今日からできること」	2024 年 11 月 13 日	西宮市民会館 401 会議室	白川大樹　奥田晶　吉﨑しのぶ	55 名

２）その他研修会

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
西宮市在宅排尿ケアを考える会　「在宅での排尿管理」	2024 年 4 月 4 日	Web 開催	寺尾秀治	100 名
メディカルケアネット西宮事例検討会　5 圏域開催	2024 年 7 月各 5 回開催	市内各 5 圏域	圏域毎で選定（西宮市在宅療養相談支援センター主催）	20～40 名×圏域
BCP 策定ワークショップ	2024 年 8 月 24 日 26 日、10 月 25 日、11 月 9 日、2025 年 2 月 20 日	西宮市すこやかケア会議室とオンライン	訪問看護ステーションネットワーク西宮 BCP チーム	14 名
三田市神戸市北区西宮市北部合同研修会	2025 年 1 月 20 日	三田市総合文化センター	青山裕美	80 名

４．交流会

開催年月日	場所	内容	参加者数
2024 年 10 月 26 日	西宮市役所	にしのみや市民祭りふるさとブース出店 訪問看護クイズによる市民啓発と健康相談コーナー設置	ブース来場 570 名 内、相談コーナー 268 名
2024 年 4 月～毎月第２土曜日	訪問看護ステーションそよかぜ	がん患者グループゆずりは講演会視聴と交流会　定期開催	延べ 30 名
2024 年 12 月 8 日	西宮神社会館	アットホームホスピス「伝えたい　100 年先へ阪神・淡路大震災から、もうすぐ 30 年」	50 名

５．地域の関連機関との連携及び会議等の出席に関する事項

会議名	開催年月日	場所	出席者氏名
西宮市難病対策地域協議会	2024 年 5 月 17 日	西宮市保健所１F 講堂	稲葉典子
西宮市在宅医療・介護連携推進協議会	2024 年 6 月 15 日 10 月 17 日、 2025 年 2 月 20 日	西宮市役所職員会館	中嶋久子 青山裕美
西宮市災害医療救護連絡協議会	2024 年 11 月 27 日 2025 年 2 月 10 日	西宮市保健所１F 講堂	稲葉典子
西宮市在宅医療・介護連携推進協議会　おひとりさま部会	2024 年 12 月 20 日 2025 年 3 月 19 日	西宮市役所	青山裕美
西宮市認定審査会	毎月 2～4 回開催	西宮市役所	長谷川初美 中嶋久子 吉田聖名子

西宮市感染症予防計画策定検討委員会　医療提供体制検討部会	2024年8月20日 2025年2月14日	西宮市保健所1F講堂	長谷川初美
西宮市立学校園における医療的ケア検討会	2024年8月21日 12月20日	西宮市教育委員会	青山裕美
西宮市福祉のまちづくり課と訪問看護ステーションネットワーク西宮の懇談会	2024年7月9日	西宮市役所	青山裕美 福井香苗 吉﨑しのぶ 福山敦子 池田由紀 稲葉典子
西宮市保健医療策定委員会	2024年8月29日	西宮市役所	吉田聖名子
介護・福祉の意見交換会	2025年1月21日	勤労青少年ホーム（ぷらっとアイ）	青山裕美 福井香苗 福山敦子
西宮市地域包括運営協議会	2025年2月13日	西宮市役所	青山裕美
西宮市医療的ケア児等支援者連絡会	2025年2月25日	西宮市総合福祉センター	青山裕美 小佐々結加里
西宮市地域精神保健福祉連絡会	2025年3月25日	西宮市役所池田庁舎	福山敦子

６．その他の報告内容

（１）令和６年度も厚生労働省委託事業「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」連携型BCP・地域 BCP 策定モデル地域事業に参画した。①24 時間人工呼吸器利用者の行政報告の ICT 化 ②発電機設置運営マニュアル策定と訓練　③BCP 策定支援と研修・訓練の実施　④訪問看護事業所間の連携協定策定　の 4 点に加えて、今年度から西宮市との災害時医療救護協定に向けて取り組みを進めている。

（２）訪問看護指示書の授受について、平成 24 年 3 月 30 日厚労省事務連絡の文書を用いて西宮医師会に相談したところ、意図の了承を得た。返信用封筒と切手の同封を市内一斉に取りやめるための文書を会長名で作成し、指示書依頼先に送付できるよう整備した。

（３）2024 年 7 月 23 日に役員会が西宮市法人指導課に出向き、新規事業所申請時の受理について確認した。背景としては、ニュース報道となった訪問看護事業所の不正請求案件について厚労省が訪問回数の適正化や看護の見える化に乗り出す動きがあり、今一度訪問看護事業の質の向上のために、本協議会への加入を新規指定時に促してもらうよう申し入れた。

■活動の評価

1. 西宮市からの受託事業として、介護職向けの研修を企画し実施した。本事業は、市内介護保険事業所の質の向上に資する研修企画を受託しており、介護職が心不全在宅療養者の生命と暮らしを守っていることの感謝を伝えながら、心不全の病態理解を促す有意義な内容であった。
2. 連携型 BCP の取り組みにより、西宮市災害時医療救護連絡協議会への加入が認められ、関連会議に出席する予定となった。また、総会後研修では、連携型 BCP のフローチャートについて架空事例を用いて検証し、有事の情報の授受を中心にコンセンサスを固めていき、連携型 BCP の推進に勢いを付けた。
3. 毎年出店している西宮市民祭りでは、過去最高の来店者数となり盛況であった。また、看取りのシンポジウムも立ち見が出るほどの来場者数となり、市民啓発への取り組みはさらに活発化している。
4. 計画している企画は盛りだくさんだが、それぞれに意義があることを理解して参画している管理者が多く、協力し合って計画を実行している。市民向け看取りシンポジウムで映写する西宮市の風景と管理者のランニングを動画で作成したり、T シャツを買いそろえたりして活動している。
5. ナーシング・スキルライト訪問看護版の試用後アンケートでは、9 割以上が導入を希望した。小規模事業所では動画コンテンツは高額で購入できないため希望が多かったが、一方、希望しない事業所は、そもそもナーシング・スキルそのものの導入を取りやめたい意向もあり、事業所内研修の在り方についての各事業所の自由裁量も考慮する必要があるということがわかった。